



●「一日30人以上と話す」  
●「10時以降 3時間以上 飲まない」  
**人間関係や嗜好の問題を  
運動としてとりくんでいくのか**

**コンプライアンス対策本部  
会議で 平井委員長指摘**

教職員の不祥事対策を練る県のコンプライアンス(法令順守)対策本部会議(第2回)が5月17日、開かれました。長崎高教組からは委員のひとりとして平井秀治執行委員長が出席し、現場の立場から積極的に発言を行いました。不祥事対策の名を借りた教職員のチェックが強化される兆しもあります。問題意識を持って、これに当たることが求められています。

**教育長 明るく風通しの  
よい職場づくりを強調**

会議の冒頭、渡辺教育長は「不祥事は生徒・父・母や県民から信頼を大きく損なう」ので「信頼回復に取り組むために、県教委に部長級の『政策監』を設置」したことを明らかにし「対策が一人ひとりに届くように、明るく風通しのよい職場づくりを努めていく」ことを強調しました。

**県教委 具体的例として  
計上しただけと弁解**

県教委は「現在実施している対策の進捗状況(県立)を説明。そのなかで県教委は「県立69校のうち『毎月実施する学校 1校1%』を『積極的に進めている』と紹介。また取組例として、『毎日30人以上の職員とことばを交わす』『10・3運動』(10時以降飲まない、3時間以上)

「10時以降 3時間以上 飲まない」●「一日30人以上と話す」●人間関係や嗜好の問題を運動としてとりくんでいくのか

**県教委「振替を拡大すると学校運営に支障をきたす」**

国体業務を振替対象にしながら、週休日の生徒引率については事実上、振替を認めない態度で終始する県教委。こうした対応に高教組は職場の実態や全国的状况をあげ、厳しく追及しました。県教委は「新人戦やロボットコンクールなども学校運営に障害をきたさない範囲内でぎりぎりの線で認めてきた」、「昨年もオープンスクールについても広げ、国体業務についても、まずい対応で申し訳なかったが国体の分も増える。拡大していくと学校運営に支障が出てくるのではないかと回答

国体業務を振替対象にしながら、週休日の生徒引率については事実上、振替を認めない態度で終始する県教委。こうした対応に高教組は職場の実態や全国的状况をあげ、厳しく追及しました。県教委は「新人戦やロボットコンクールなども学校運営に障害をきたさない範囲内でぎりぎりの線で認めてきた」、「昨年もオープンスクールについても広げ、国体業務についても、まずい対応で申し訳なかったが国体の分も増える。拡大していくと学校運営に支障が出てくるのではないかと回答

**高教組「せめて週1回は休みたい」の声に応えよ**

高教組は春闘要求アンケートであげられた「せめて週1回は休みたい」という声をもとに「週に1回の休みを保障するよう管理職を指導すること」という要求について、文書回答がなかったが、この要求についての回答はどうなっているのかと質しました。県教委(玉島人事管理監)は「学校によつては土日もないというようないか、そ

高教組は春闘要求アンケートであげられた「せめて週1回は休みたい」という声をもとに「週に1回の休みを保障するよう管理職を指導すること」という要求について、文書回答がなかったが、この要求についての回答はどうなっているのかと質しました。県教委(玉島人事管理監)は「学校によつては土日もないというようないか、そ

**4・28教育長交渉 (3)**



▲高教組側の参加者  
▼県教委側の参加者



**教育長「業務の縮減など今後真剣に考えていきたい」**

超勤縮減に関わって高らせば少なくなるか」を教組が「超勤が月100時間を超える人が1割80時間。80時間の超勤の人が出ないように認めなければならぬ」と認めた。県教委の認識を質しました。減らないといけない。

超勤縮減に関わって高らせば少なくなるか」を教組が「超勤が月100時間を超える人が1割80時間。80時間の超勤の人が出ないように認めなければならぬ」と認めた。県教委の認識を質しました。減らないといけない。

超勤縮減に関わって高らせば少なくなるか」を教組が「超勤が月100時間を超える人が1割80時間。80時間の超勤の人が出ないように認めなければならぬ」と認めた。県教委の認識を質しました。減らないといけない。

超勤縮減に関わって高らせば少なくなるか」を教組が「超勤が月100時間を超える人が1割80時間。80時間の超勤の人が出ないように認めなければならぬ」と認めた。県教委の認識を質しました。減らないといけない。

【お願い】教育長交渉では定数問題や部活動指導手当(時間)に関わって十分な追及は、時間の都合できません。今後の交渉などで、その前進を図っていきます。教育長交渉の内容は、労働条件の改善そのものです。職場で活用するようにしてください。

